

筑波大学附属病院 ベスト・プラクティス 成果発表会

日時：2026年3月4日(水)

15:00～16:00

場所：筑波大学附属病院
桐の葉モール2階 講堂1

開会挨拶
概要説明

医療品質管理部 部長
古田 淳一

発表者	タイトル
坂本 康行 (医療支援課)	年間約1,500時間の業務時間削減と 40,000枚以上のペーパレス化実施
舟橋 由美子 (看護部)	入退院支援加算1と介護支援等連携指導料取得に向けた 医療連携患者相談センターの業務改革
田中 駿 (脳卒中科)	電動麻酔器を用いた脳血管造影検査時の疼痛緩和による 質改善の取り組み
川鶴 奈々 (放射線部)	特定看護師のPICC挿入を支援する 新たな画像処理パラメータの開発
中村 貴之 (皮膚科)	診療と教育の質向上を目指した皮膚腫瘍アトラスの作成と活用

閉会挨拶

医療品質管理部 副部長
濱野 淳

※発表内容は変更になる可能性があります

＜事務担当＞
筑波大学附属病院
品質・安全管理課評価係

＜お問合せ/申し込み＞
お申込はQRコードまたは以下のリンクより
<https://forms.office.com/r/4Dn4Pt3R4z>

※申込締切：2026年3月2日まで

TEL : 029-853-3905
E-mail : hsp-hyoka@un.tsukuba.ac.jp

ベスト・プラクティスとは？
PDCAサイクルを活用し、医療の質の改善の為
に院内で実行された優秀な取り組みです。

